

神奈川宣言ネットワーク ニュースレター(Vol.7)

<http://www.kanagawadeclaration.jp>

>>> 持続可能な都市のための20%クラブ

2006.3.14.発行

-----

神奈川宣言ネットワークは、環境への取り組みに関するさまざまな情報交換を通じて、主に地方自治体やNGO等による環境配慮活動を促進することを目標に、神奈川県と持続可能な都市のための20%クラブ(事務局:地球・人間環境フォーラム内)が協力して進めるものです。神奈川宣言に賛同した自治体、20%クラブ会員自治体およびワークショップ参加自治体等へお送りしています。

-----

目次

- .....
1. 新アジェンダの確実な実施に向けた「マイアジェンダ登録」(神奈川県)
  2. 環境教育から始める地球温暖化対策(神奈川県)
  3. 住民とともに歩む環境のまちづくりの道(福井県池田町)
  4. 夏の笑エネキャンペーン2005in高畠(山形県高畠町)
- .....

1. 新アジェンダの確実な実施に向けた「マイアジェンダ登録」(神奈川県)

神奈川県は、1993年にわが国で初めてのローカルアジェンダ21である「アジェンダ21かながわ」を採択し、この推進母体として「かながわ地球環境保全推進会議(推進会議)」を発足、これまでその実施に取り組んできた。2003年、推進会議を主体に「アジェンダ21かながわ」を改定し、新アジェンダを改めて採択した。

新アジェンダでは、神奈川県の30年後のあるべき姿を、長期的ビジョンとして提示し、ビジョン達成に必要な中期的「アクション(行動計画)」を、11分野

21 目標の具体的な行動メニューとして提案している。

行動メニューの実践を社会全体に広げることを目的にマイアジェンダ登録が開始された。県民、企業、NPO等、行政が環境配慮に向けて自主的に取り組む内容を、インターネット等を通じて公表・登録し、その成果についても報告するもので、アジェンダの実行性の確保にとどまらず、さまざまな取り組みの相互連携や協力の促進、新しい取り組みを促すものとして期待されている。

取り組みに関する詳細はこちら

<http://www.kanagawadeclaration.jp/MyAgenda.htm>

## 2．環境教育から始める地球温暖化対策（神奈川県）

「神奈川県国際環境協力協議会」は1998年9月に環境庁(当時)、民間企業等の参加を得て設立された。同協議会は、県内企業・行政の環境改善に関する技術をアジア諸国に提供し、環境保全活動の推進に寄与することを目的としている。これまでタイとベトナムにおいて環境セミナーを開催してきた。2004年度には、環境セミナーとあわせて廃棄物処理と環境教育の分野に関する現地の状況調査・ニーズ調査等をタイにおいて行った。

さらに、協議会では太陽光発電システムをタイの学校に導入し、そのシステムを活用した環境教育プログラムを開発するとともに、その担い手となる人材を現地で育成し、継続的な環境教育の定着を図るプロジェクトを行うこととした。こうした環境教育プログラムの定着は、学校に通う児童からその家庭へ、そして地域へと、再生可能なエネルギーの利用や省エネという地球温暖化防止に向けた社会意識を醸成するという効果も期待されている。

取り組みに関する詳細はこちら

<http://www.kanagawadeclaration.jp/EnvEducation.htm>

## 3．住民とともに歩む環境のまちづくりの道（福井県池田町）

福井県東南部に位置する池田町は、町面積の90%以上を山林が占める、人口3,600人ほどの自然豊かな町で、田楽・能楽の里として古い歴史をもつ地域で

もある。同町では近年、行政と住民が一体となって環境と調和したまちづくりを積極的に進めており、2006年1月の「第5回自治体環境グランプリ」((財)社会経済生産性本部主催)では「環境大臣賞・グランプリ」も受賞した。

その取り組みとして、独自の農産物の認証制度「ゆうき・げんき正直農業」や、町民100人が、自らの地域の自然や環境を見直し、町をよくするにはどうすべきかを議論し、作成した「環境向上基本プラン」、家庭から出る廃食油からできた手づくりのキャンドル1万本を町内に灯そうというイベント「1万本のエコキャンドル」などが行われている。

取り組みに関する詳細はこちら

<http://www.kanagawadeclaration.jp/Ikeda.htm>

#### 4. 夏の笑エネキャンペーン 2005in 高畠 (山形県高畠町)

高畠町では2005年7月の1ヵ月間、「夏の笑エネキャンペーン」と称するキャンペーンが行われた。町内で省エネ(電気使用量の節約)を競い合うこのキャンペーンは、過去2回の開催実績を持つ。電気量を前年同月と比較しどれだけ削減できたか(削減率)を世帯対抗で競い合うもので、電気使用量検針票を提出する形で参加できる。

今回は、省エネに関心のない町民の参加をとくに促すため、上位入賞者への副賞を豪華にするなどの工夫がなされた。その結果、町内7,500世帯のうち当初1,631世帯が応募、最終的に1,030世帯が検診票を提出した。

結果は50%以上の削減率を達成した世帯が19世帯、30%以上の削減率が112世帯、10%以上の削減率が600世帯を占め、前年比で平均13.75%の節電が行われたことになる。

取り組みに関する詳細はこちら

<http://www.kanagawadeclaration.jp/Takahata.htm>

---

【20%クラブでは、会員自治体の取り組み情報・新規会員を募集しています】

会員自治体の方へ：新しい環境への取り組み情報をお寄せ下さい  
会員自治体さんからの新しい取り組みに関する情報をお待ちしています。  
ユニークな取り組みについては、今後ニュースレター等で紹介させていただきます。

加入自治体を募集しています

20%クラブは、積極的な環境施策に取り組む国内 41 自治体、海外 26 自治体が加入する、国際的なネットワーク組織です。情報交換を今後より一層進めるため、積極的な環境施策を進める都道府県・市町村の新規加入をお待ちしています（20%クラブの設立経緯、活動内容、会員サービス内容等に関しては下記 HP ご参照下さい）。

20%クラブとは？

<http://www.shonan-inet.or.jp/~gef20/J/20introj.htm>

20%クラブ会員自治体リスト

<http://www.shonan-inet.or.jp/~gef20/J/memberlistj.htm>

---

掲載内容の印刷、ウェブ上での複製・転載等をご相談下さい（お知り合いや ML へのメールでの転送は歓迎です）。内容に関するご意見・ご質問は下記事務局まで。

編集・発行 / 持続可能な都市のための 20%クラブ事務局

（財）地球・人間環境フォーラム内

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 1 - 18 - 1 虎ノ門 10 森ビル 5 階

TEL:03-3592-9735 FAX:03-3592-9737

E-mail:michiko\_amano@nifty.com

【20%クラブ】

URL:<http://www.shonan-inet.or.jp/~gef20/>

【神奈川宣言ネットワーク】

URL:<http://www.kanagawadeclaration.jp/>